

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2017年1月5日(木) 9:30~15:00

作業項目：1) 林床整備(枯損木伐倒・除伐)

2) 植樹状況確認

今年の初作業日は時折小雪の舞う寒い一日だった。先ず本山寺本堂にお神酒をお供えし、全員でお参りして今年の作業の安全を祈願した。次いで百済ご住職に新年のご挨拶を済ませたあと物置小屋のある小広場に戻り作業を始めた。一帯の整備はかなり進んで林間も大分明るくなっているが、まだ放置したままの枯木もあり、また今年の台風で倒れたかなりの数のマツの枯損木も処理する必要がある。

そこで、午前は昨年12月、『44林班「い」』地区の東海自然歩道沿いを中心に24ヶ所・33本の植樹を行ったので一人はその後の状況調査と樹種の再確認に出掛け、残る6名は『44林班「に1」』地区(物置周辺)の林床整備を行った。繁茂する常緑樹の除伐は順調に進んで林間の見通しはめっきり良くなったが、マツの枯損木の処理にはかなり手間取り、寒空の下での作業にもかかわらず身体が熱くなる程だった。

午後は以前から気になっていた厄介な枯損木を片付けることにした。風で倒れた径25cm位のマツが3本、斜めにクロスして高さ6m位のところで掛かり木になっている。三本が重なっているため、一本ずつ引き摺り下ろす以外、処理の方法は考えられない。根元に厚いベルトを巻きつけて斜面の上方の木に固定したチェンブロックのフックに繋ぎ、梃子を入れて根元を持ち上げながらブロックの手鎖を手繰りして持ち上げ用の鎖を巻き取る。鎖の長さだけ倒木は移動するが、その移動の方向が斜面の上方に向ってなので作業は中々大変である。鎖の長さ一杯引上げてはフックを繋ぎ直す、と言う作業を何遍か繰り返して、やっと倒木2本を地面に引き下ろすことができた(一回のチェーン操作で移動させられるのは数10cmから1m程度)。こうして少しずつだが確実に重い木を動かせるのは有難い。チェンブロックの威力発揮である。残る一本はテコだけで下ろすことができた。

まだ気になる枯損木はかなり残っているが、この三本を処理するだけで午後の時間の大半を費やしてしまったので、あとは次回以降の作業に廻すことにした。

【作業参加者】

石原順子 斧田一陽 後藤和子 薦田佳一(午後) 武田壽夫 秦 康夫 茂木完治
(午前) 計7名



<集合写真・作業開始時>



<安全祈願>



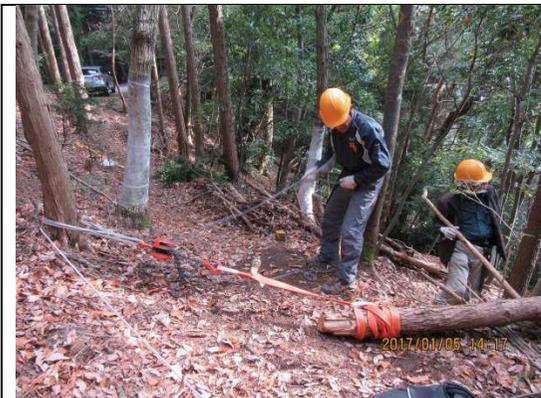
<お神酒奉納>



<径 30cm の枯損木を推倒す>



<クロスした枯損木>



<引き倒し>



<伐倒後の切り揃え>



<林床整備>